

東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会編

小児がん診断 ハンドブック

改訂第三版



東京都

はじめに（初版時）

東京都小児がん診療連携協議会 会長

東京都立小児総合医療センター 院長

本田 雅敬

（現 臨床研究支援センター アドバイザー）

この度、「東京都小児がん診療連携協議会」では、小児がんの子どもを診断するためのハンドブックを作成いたしました。

まずは本協議会について簡単に説明させていただきます。平成 25（2013）年 9 月に東京都福祉保健局が中心となり、東京都において小児がん診療を担っている病院を一定の基準で選定した東京都小児がん診療病院 12 病院と都内の小児がん拠点病院 2 病院、東京都医師会、がんの子どもを守る会による協議会が設立されました。

設立された目的は、小児がんを担う病院が密接に連携することにより、診療や療養環境を向上させ、長期フォローアップ、相談支援、緩和ケア、普及啓発、がん登録などの推進を図ることにあります。

平成 26（2014）年 3 月からは、各病院の小児がんに関する情報を「東京都がんポータルサイト」に掲載しましたので、ご利用いただければと思います。

このハンドブックは一般小児科を中心に、小児がんを発症した患者が訪れる可能性のある診療所や病院に広く配布する目的で作成いたしました。

内容は白血病、脳腫瘍、悪性リンパ腫、胸部腫瘍、腹部腫瘍、悪性骨腫瘍、眼腫瘍、頭頸部腫瘍などの血液がん、固形腫瘍の初発症状を分かりやすく紹介し、症例提示でさらに具体的に示すようにしております。専門医でない先生方にも見やすく、難しくならないように、各著者には心がけて執筆いただきました。

この種のハンドブックは我が国でも初めて作成されたものであり、皆様の診療に役立つものと自負しております。また、巻末には各病院の特徴を掲載いたしましたので、ご紹介いただく際の参考にしていただければ幸いです。

最後になりましたが、著者、編集者、その他の関係者の多大な努力により、短期間で作成することができました。この場を借りて深謝申し上げます。

今 後 （第三版時）

東京都小児・AYA 世代がん診療連携協議会 会長
東京都立小児総合医療センター 院長
山岸 敬幸

小児がんは成人がんとはまったく異なる希少疾患ですが、近年の治療法の進歩により多くのこどもたちが治癒可能な時代になってきました。

しかし、その診断は依然として困難なことも多く、初発症状が多岐にわたって非特異的であることや、他の小児疾患との鑑別が難しい場合もあり、早期診断により適切なタイミングで専門医へつなげるためには、まだまだ課題があります。

こうした背景のもと、本ハンドブックは初期診療にあたる小児科医、総合診療医、そして地域の医療従事者が小児がんを早期に疑い、適切に診断し対応できるように支援する目的で作成されました。

今回の改訂では、最新の診療ガイドラインや診断技術の情報を取り入れながら、実践的で使いやすい構成を目指しました。小児がんについての概説から始まり、メインとなる各疾患の紹介では、それぞれ「ポイント」を簡潔に箇条書きにまとめ、「疾患の概要」と「初発症状」に焦点を当てています。図表や画像を多く掲載し、代表的な小児がん症例の提示も加えて、目の前の患者さんの診断に役立つ小児がんのエッセンスを凝縮しました。

また、東京都における小児がん診療連携ネットワークおよび関係団体の診療提供体制の情報をアップデートし、地域間での情報共有や診療連携のさらなる強化を図り、小児がん拠点病院や東京都小児がん診療病院への円滑な紹介受診を促進する内容も盛り込まれています。

今後、私たちはこのハンドブックを「診断」の枠にとどめず、こどもたちとご家族を中心に据えた包括的な医療の一助として活用していくこともできればと思います。診断精度の向上だけでなく、早期の心理的支援やQOL（生活の質）の向上、また必要な社会的サポートや緩和ケアにつなげる「起点」としての役割も果たせればと考えます。

医療者一人ひとりが正確な情報と支援体制を共有し、地域全体で小児がんに立ち向かう環境を整えることを、今後、益々推進したいと思います。

本ハンドブックが、日々の診療の中でこどもたちの未来を守る一助となることを心から願います。末筆になりますが、本改訂にご尽力いただきました皆様に、深く感謝申し上げます。

東京都小児・AYA 世代がん診療連携協議会

<小児がん拠点病院>

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター

地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター

<東京都小児がん診療病院>

東京慈恵会医科大学附属病院

順天堂大学医学部附属順天堂医院

東京科学大学病院

東京大学医学部附属病院

日本医科大学付属病院

聖路加国際病院

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院

東邦大学医療センター大森病院

慶應義塾大学病院

日本大学医学部附属板橋病院

杏林大学医学部付属病院

帝京大学医学部附属病院

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター

<関係団体>

公益社団法人 東京都医師会

公益財団法人 がんの子どもを守る会

ハンドブック作成ワーキンググループ（初版作成時点）

金子 隆	東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科 ※診療連携部会長
藍原 康雄	東京女子医科大学 脳神経外科
秋山 政晴	東京慈恵会医科大学 小児科
市川 朝也	前・東京都立小児総合医療センター 耳鼻いんこう科
小嶋 靖子	東邦大学医療センター大森病院 小児科
越永 従道	日本大学医学部 小児外科
杉藤 公信	日本大学医学部 小児外科
滝田 順子	東京大学大学院医学系研究科 小児科
野中 雄一郎	東京慈恵会医科大学 脳神経外科
森岡 秀夫	慶應義塾大学医学部 整形外科
柳澤 隆昭	東京慈恵会医科大学 脳神経外科
湯坐 有希	東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科
吉澤 穰治	東京慈恵会医科大学 小児外科

ハンドブック編集：東京都立小児総合医療センター

編集担当：湯坐 有希、事務局医事課

ハンドブック作成ワーキンググループ（第三版作成時点）

湯 坐 有 希	東京都立小児総合医療センター 特任副院長 ※小児がん診療連携部会長
秋 山 政 晴	東京慈恵会医科大学 小児科
上 原 秀 一 郎	日本大学医学部外科学系小児外科学分野
加 藤 元 博	東京大学大学院医学系研究科 小児科
高 木 正 稔	東京科学大学病院 小児科
高 橋 信 博	東京都立小児総合医療センター 外科
中 山 ロバート	慶應義塾大学医学部 整形外科
野 中 雄 一 郎	東京慈恵会医科大学 脳神経外科
羽 賀 洋 一	東邦大学医療センター大森病院 小児科
星 玲 奈	日本大学医学部外科学系小児外科学分野
牧 本 敦	東京都立小児総合医療センター 輸血科
森 尚 子	東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科
横 川 裕 一	東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科

ハンドブック編集：東京都立小児総合医療センター

編集担当：湯坐 有希、事務局計画課

目 次

I	小児がんについて	1
II	小児がんを疑う患者を診たときの対応	3
III	疾患紹介	6
	1 白血病の初発症状	7
	2 脳腫瘍の初発症状	9
	3 悪性リンパ腫の初発症状	15
	4 胸部腫瘍の初発症状	21
	5 腹部腫瘍の初発症状	25
	6 悪性骨腫瘍の初発症状	27
	7 眼腫瘍の初発症状	31
	8 頭頸部悪性腫瘍の初発症状	33
IV	症例提示	35
	1 左下肢痛と発熱を主訴に来院した 5 歳男児	36
	2 嘔吐・不機嫌・歩行を嫌がることを主訴に来院した 4 歳男児	38
	3 呼吸困難を主訴に来院した 6 歳男児	40
	4 検診で異常を指摘され来院した 15 歳男児	42
	5 腹部膨満を主訴に来院した 2 歳男児	44
	6 右大腿部痛を主訴に来院した 7 歳女児	46
	7 発達の遅れを主訴に療育施設を受診した 10 ヶ月男児	48
	8 眼球突出、鼻症状を主訴に来院した 15 歳男児	50
V	治療終了時逆紹介への対応の留意点	56
VI	東京都小児がん診療連携ネットワークについて	57
VII	東京都小児がん診療連携ネットワーク参加医療機関の情報	59
VIII	関係団体の紹介	67
IX	症状から探す目次	68

Column

1	腫瘍崩壊症候群(TLS)	2
2	ランゲルハンス細胞組織球症(LCH)	5
3	小児のリンパ節腫大	14
4	四肢にできる軟部腫瘍	20
5	患肢温存手術	24
6	Leukemic Band	29
7	網膜芽細胞腫の遺伝	30
8	小児がん認められる皮疹	52
9	小児がん患者の在宅医療について	52
10	小児がん患者の緩和ケアについて	54
11	小児がんゲノム医療とは	55